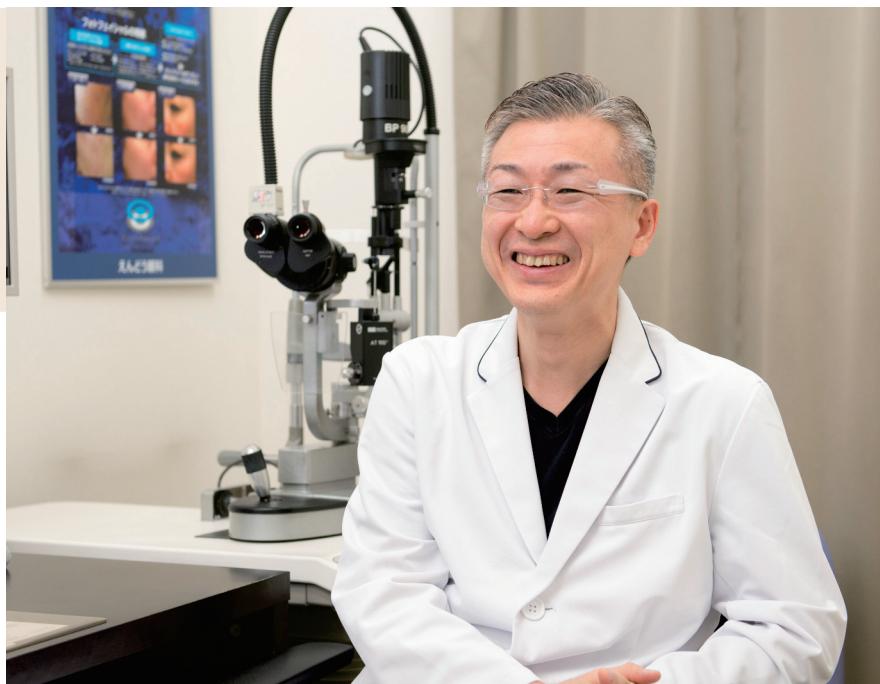


先生と一問一答

◆好きな動物／小さい頃、犬や猫、カメを飼っていました。
中でも犬が好きです ◆趣味／旅行。温泉旅行に出掛けたりしています ◆医者になっていなかつたら／小学校の卒業文集には「宇宙飛行士になりたい」と書いていました ◆嬉しかったこと／白内障の手術を受けた患者さんが「よく見えるようになった」と喜んでくれたこと ◆スタッフ自慢／中には開院当時から勤続のスタッフも。皆、患者さんのために自分から動いてくれて、とても頼りになります



(上)患者さんが安心して検査や治療を受けられるよう、親切・丁寧・笑顔をモットーにサポートするスタッフの皆さん。

(中)ゆったりとしたアームチェアが並び、くつろいで過ごせる待合室。

(下)手術室には最先端の白内障手術装置や高性能顕微鏡などを完備。日帰り白内障手術をはじめ、眼瞼下垂など他の日帰り手術にも対応する。



適切な検査と丁寧な説明で安心を提供 白内障をはじめ日帰り手術にも注力

理事長 日本眼科学会認定眼科専門医

遠藤 哲治先生

【えんどう・てはる】日本医科大学卒業。大学病院勤務、北村山公立病院眼科医長、国家公務員共済組合連合会 稲田登戸病院 眼科部長などを経て、平成19年に開業。失明の原因になる疾患の早期発見・治療に尽力している。透析専門病院での勤務経験から、腎臓病や糖尿病など目に合併症を生じやすい全身疾患を持つ患者からも信頼を集めている。◆身体障害者福祉法第15条指定医（視覚障害）



教えて
先生

Q. OCT(光干渉断層計)とは どのような検査なのですか?

A. OCT(光干渉断層計)は、網膜の断面画像の撮影を行う、いわば眼科版CT検査装置です。網膜の厚さを正確に測定し、腫れや出血の状態など表面から見ただけでは分かりにくい異常も発見できます。さらに眼底カメラなどとあわせて検査することで、網膜疾患の診断精度がアップ。症状に応じた適切な検査で、病気の早期発見・治療につなげています。

一般眼科診療から日帰り手術、メガネやコンタクトレンズ処方まで、目の悩みに幅広く対応しています。中でも二~三歳の多い日帰り白内障手術には、最新の超音波手術装置を導入。従来のものに比べ低侵襲で、患者さんの負担や合併症のリスクをより軽減できるようになりました。ご希望によって多焦点眼内レンズにも対応し、術後の保護メガネの貸し出しも可能です。また、YAGレーザーによる後発白内障手術や、緑内障や糖尿病網膜症のレーザー手術なども日帰りで行っています。

当院には眼科検査のスペシャリストである視能訓練士が4名在籍しています。例えば白内障の手術でも、正確な検査で眼内

レンズの度数を測定しなければ、最適な見え方を実現することはできません。各種検査機器も充実させ、必要な検査をスムーズに受けられる体制を整えました。月・火・木曜日には、眼鏡士により除くため、できるだけ医学用語を使わず丁寧で分かりやすい説明に努めています。そして患者さんの希望や思いをしっかりと共有し、ご納得いただいてから治療を進めています。お子さんの来院も多く、検査や治療で怖がらせないよう接し方にも気を配っています。

放置すると失明の危険性もある加齢黄斑変性などには、注射による抗VEGF療法にも対応しています。今後も新しい知識や技術を取り入れながら治療のレベルアップを図り、地域の目のかかりつけ医を目指します。

医療法人社団 来聖会

えんどう眼科

048-240-5711

川口市栄町1-12-21

シティデュオタワー川口2階

<http://www.endo-ganka.com/>